

いえが つぶれたり、でんちゅうが たおれたり して いた。
どうろには ひびが はいって いたし、
けがを して いる ひとも いた。

その あとも なんども ゆれた。
おかあさんは きずなを だいた まま、
「こわい。」
と いったんだ。
おとうさんも とっても こわかったよ。

その とき だれかが、
「つなみが くるぞ！ たかい ところへ にげろ！」
と、さけんだんだ。

おおきな じしんの あとは つなみに きを つけなければ いけない。
おとうさんたちは いそいで にげた。